

東武動物公園のSDGsへの取り組み

～人と動物、環境にやさしい園づくり～

東武動物公園は、1981年の開園以来、動物の飼育・展示・繁殖やアミューズメント施設を通じて、来園者に夢と癒しの提供に加えて、動物と人との共生を重視した持続可能な環境づくりに努めています。SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みは、当社の経営理念と密接に結びついており、自然資源の循環利用、生物多様性の保護、地域社会との協働を通じて、より良い未来の実現を目指しています。

具体的には、動物たちへの自然な食料の提供、廃棄物のリサイクル、環境教育プログラムの実施、地域との連携事業などを展開しています。これらの活動は、動物たちの健康と福祉を保ちながら、来園者に自然環境の大切さを伝え、地域社会における環境意識の向上に寄与しています。

東武動物公園は、SDGs達成に向けた取り組みを通じて、持続可能な社会づくりに貢献しています。

SDGsとは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17のゴールと169のターゲットで構成されています。



東武動物公園
マスコットキャラクター
トッピー

1 自然と資源の循環、廃棄物ゼロへの取り組み

■園内に自生する植物を動物へ給餌



東武動物公園では、園内で自然に育つ植物を積極的に動物の飼料に利用しています。この取り組みは、持続可能な食物資源の循環を実現するための重要なステップです。通常、動物園は餌を外部から購入し、それが輸送による環境負荷を引き起こすことがあります。この方法により、輸送の必要性が減り、CO2 排出量の削減にも寄与します。さらに、自生植物の使用は、園内の自然環境を維持し、生態系のバランスを保つ上でも重要な役割を果たします。



園内に自生している
カシの葉を食べるキリン

■他企業で廃棄する野菜等の受け入れ



東武動物公園は、地域の企業（株式会社吉野家、イオンアグリ創造株式会社、屋久島ジビエ王国）や農家から廃棄される規格外野菜（キャベツ・ハクサイ・トマト等）の他、駆除されたシカの肉を受け入れ、動物の餌として再利用しています。この取り組みは、食品廃棄物の削減とリサイクルを促進するもので、廃棄物の有効活用を通じて環境保護に貢献します。動物たちに新鮮で多様な飼料を提供することで、彼らの栄養摂取と健康維持にも繋がります。



トマトやキャベツ



屋久島ジビエ王国

■動物の排泄物を堆肥化



アフリカゾウ

動物の排泄物を堆肥化し、自然の資源循環を模倣しています。この堆肥は、園内の植物栽培や地域の農業で活用され、化学肥料の使用を減らし、土壌の健康を向上させることができます。このプロセスは、廃棄物を有益な資源に変換し、持続可能な農業の推進に貢献します。



栄養豊富な堆肥になる



園内の花壇で活用

■動物舎の清掃で発生した汚水を浄化し清掃用水に再利用



動物舎の清掃で発生した汚水を園内汚水処理場で浄化し、清掃用水に再利用することは、環境保護と資源効率の向上に寄与します。同時に、資源の持続可能な利用と環境への負荷が軽減されます。また、土地と生態系への負担も減り、自然環境の保護に貢献します。これらの取り組みは、持続可能な未来のために不可欠であり、環境への配慮と資源効率の最適化が実現されています。

■園内飲食施設での脱プラスチック



東武動物公園の飲食施設では、プラスチック製品の使用を減らすことに注力しています。使い捨てのプラスチック製品を生分解性や再利用可能な材料に置き換えることで、プラスチック廃棄物の削減と環境汚染の防止に貢献します。これは、持続可能な消費行動を促進し、環境への意識を高めるための重要な一歩です。

■ペーパーレスの推進（園内紙マップ90%削減、WEBチケット導入・推進）



紙の使用を減らすため、東武動物公園では園内マップの紙製版の無料配布を廃止し、代わりにデジタル版を提供しています。また、入場券のオンライン購入を奨励することで、チケットの印刷に必要な紙の消費を削減しています。これらのペーパーレス化の取り組みは、森林資源の保護と地球環境への負担軽減に直接貢献しています。



園内紙マップの廃止

2 生物多様性の保全と学習機会の提供

■絶滅危惧種の飼育・展示・繁殖



東武動物公園では、絶滅の危機に瀕している動物種の飼育、展示、そして繁殖に力を入れています。これは、単に絶滅危惧種の個体数を増やすだけでなく、来園者に生物多様性の重要性を啓蒙するための重要な手段です。具体的には、アムールヒョウやミナミシロサイの専門技術員による細かなケアと、適切な繁殖環境の提供により、これらの種の生存確率を高める努力をしています。その他にも、アフリカゾウが一日でも長く健康に過ごせるために、動物にも飼育係にも安全に体のケアを行えるよう設計した檻（PCウォール）で、日々飼育管理を行っています。



ミナミシロサイ



アムールヒョウ



プロテクテッド・コンタクト・ウォール
(PCウォール)

■動物本来の行動や能力を発揮できるような環境づくり



動物たちが自然に近い環境で生活し、本来の行動を示せるような施設の改修に取り組んでいます。これには、適切なサイズの居住空間、自然環境を模倣した地形や植生、そして種特有の行動を促すための環境エンリッチメントの提供が含まれます。これにより、動物のストレスを最小限に抑え、来園者にはより自然な動物の行動を観察する機会を提供します。



ペンギン舎

■動物ガイドの実施



来園者が動物たちについて深く学べるよう、飼育係による動物ガイドを実施しています。これらのガイドは、動物の生態、習性、保護の必要性についての詳細な情報を提供し、自然保護への関心を喚起します。また、特定の動物や生態系に関する最新の研究や保護活動についても情報を提供し、環境教育の一環として機能します。



ホワイトタイガーガイド



カバ舎内での特別ガイド

■小学校団体向けふれあい動物教室の実施



ふれあい動物教室

子どもたちに対して、動物とのふれあい等の体験型学習を提供しています。動物たちと直接触れ合う機会を提供し、自然保護の意識を育てます。これらの教室では、動物の生態や環境の重要性について学びながら、子どもたちは自然への興味と尊重を育み、将来の環境保護の担い手となる土台を築きます。

移動動物園、飼育係による講話の実施



移動動物園を通じて、地域社会のさまざまな場所で動物保護のメッセージを広めています。また、飼育係による講話を開催することで、動物園の外でも動物保護と生物多様性の重要性についての意識を高める活動を行っています。その他にも園内では、一般来園者に向けて専門的なテーマを取り入れた講話「Zoo Academy」を開催しています。

これらの取り組みにより、地域社会の一員として動物保護への理解と支援を促進します。



ふれあい移動動物園の実施



Zoo Academy

東武動物公園～日曜公園開催

大人のみなさまを対象に、ちょっぴりマニアックな動物の話題
第3回 アムールヒョウの行動的保護による
野生復帰のためのハズレシナリオレコーディング
講師：飼育係長

開催日時	1月22日(日)16:00～
開催場所	ふれあい動物の森 森の教室
定員	50名 参加費無料



ZOO Academy 開催

■「ホタルの光を蘇らせたい」という要望に応える



ホタルの飼育繁殖技術を用いて、東武鬼怒川線沿線の「倉ヶ崎 SL 花畑」でのホタル再生プロジェクトを支援しています。これにより、ホタルの生息地の保護や再生を通じて、生物多様性の観点から地域の自然環境の改善に貢献します。この取り組みは、地域住民の自然保護への関心を高め、環境教育の一環としても機能します。



一年中ホタルが鑑賞出来る施設

「ほたりウム」



倉ヶ崎 SL 花畑のホタル育成水路



ハイケボタル

3 地域との連携

■地元自治体との婚活イベントや二十歳のつどいの開催

地元自治体と協力して、地域活性化に寄与するイベントを開催しています。婚活イベントや式典などのイベントを通じて、地域住民の交流と結びつきを促進し、東武動物公園を地域社会の重要な拠点として位置づけます。



婚活イベント



二十歳のつどい

■地元住民への無料開放日（宮代の日）の設定



特定の日を地元住民に無料で開放することで、地域社会に対するサービスとして貢献しています。この取り組みにより、地域住民の間で東武動物公園への関心を高め、地域コミュニティの一員としての役割を果たしています。

■開園記念日チャリティー募金の実施



東武動物公園では、3月28日の開園記念日にチャリティー募金を実施し、環境保護活動や地域社会のサポートプロジェクトなどへ寄付しています。この取り組みで、環境保護と社会貢献を促進し、持続可能な未来への一歩を踏み出すことに貢献しています。

■企業とのコラボレーションイベントの開催



企業と連携して様々なイベントを開催し、地域経済の活性化に寄与しています。これにより、地域社会との連携を深め、持続可能な地域社会の構築を促進します。



カバヤ食品株式会社とのコラボイベント開催

■近隣中学校からの職場体験や職場訪問の受け入れ



中学生に職場体験の機会を提供することで、キャリア教育と地域教育に貢献しています。これらの体験を通じて、生徒たちは様々な職業について学び、将来のキャリア形成に役立つ知識を得ることができます。

■近隣中学校への「職業人講座」の実施



地元の中学校で職業に関する講座を実施し、生徒たちに職業の多様性と可能性について教えています。これにより、彼らの職業選択の幅を広げ、キャリア形成のサポートをしています。

2024. 3. 28



ハイブリッド・レジャーランド
東武動物公園